



2026年3月26日

各位

会社名 **ユニプレス株式会社**
代表者の 代表取締役 社長執行役員
役職氏名 浦 西 信 哉
(コード番号 5949 東証プライム)
問 合 理 事 経 理 部 長
わ せ 先 齊 藤 直 樹
電 話 0 4 5 - 2 7 8 - 3 5 1 1
U R L <https://www.unipres.co.jp/>

業績予想の修正及び特別損失の計上の見込みに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年11月6日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

2026年3月期通期連結業績予想値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 295,000	百万円 9,000	百万円 9,000	百万円 △4,500	円 銭 △101.14
今回修正予想（B）	319,000	11,000	12,000	△7,500	△168.58
増減額（B）－（A）	24,000	2,000	3,000	△3,000	
増減率（％）	8.1	22.2	33.3	－	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	330,045	12,198	13,657	△21,053	△472.63

2. 修正の理由

前回の修正予想発表時（2025年11月6日）におきましては、その時点における得意先の生産情報等の入手可能な情報に基づき算定した当社グループの各拠点における部品生産量の見通しを元に、売上高及び営業利益、経常利益を修正いたしました。また、その時点において発生が見込まれておりました中国拠点及び欧州拠点の特別損失を織り込むことで、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたしました。

今回、現時点の情報に基づき算定した見通しは、売上高につきましては前回修正予想をやや上回ることが見込まれます。営業利益及び経常利益につきましても、上記の売上増加要因に加え、継続的な合理化の取組みが奏功し、ともに前回修正予想を上回ることが見込まれます。

一方、前回修正予想で発表した中国拠点における事業の再構築に関する費用及び損失につきましては、従業員に対する割増退職金の増加等により約35億円、前回予想より増加することが見込まれます。また、日本の精密事業につきましても、将来の収益をより慎重に見積もった結果、前回発表時には想定していなかった固定資産の減損損失（20億円程度）の発生が見込まれます。これらの要因等により、特別損失が前回修正予想から約60億円増加することが見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前回修正予想を下回ることが予想されます。

こうした状況を踏まえ、上記の通り業績の見通しを修正いたします。

3. 期末配当予想について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、資本効率、株主資本配当率（DOE）に留意し、持続的な成長の実現等により配当水準の向上を目指すことを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、親会社株主に帰属する当期純利益が前回修正予想を下回る見込みではございますが、特別損失等の特殊要因を除いた業績については想定を上回って推移しており、今後も堅調な事業成長が見込めるため、当期の期末配当予想につきましては、当初予想（1株当たり30円）を維持することを想定しております。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上